

○事業所名	児童デイあつたまある鈴		
○保護者評価実施期間	令和 7 年 2 月 1 日		～ 令和 7 年 2 月 28 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	令和 7 年 2 月 1 日		～ 令和 7 年 2 月 28 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7 年 3 月 14 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	いろいろな特性の児童が利用している。	それぞれを知り、相手を思いやる気持ちを育むことを意識して療育および人間関係を取り持っている。	自分と違う相手にどう接したらいいか、職員からの指示や説明だけでなく、児童本人たちに考えていってもらい、自主性や利他の気持ちを育てたい。
2	事業所の運営歴が10年を越えていて、さまざまな児童との療育の歴史がある。	職員間に受け継がれている療育支援の知識の中に、現在利用している児童に役立つものもあるため、いろいろな方面から支援のアプローチを考えている。	現在は事業所で直接支援を離れた職員からも教え、療育に関する研修を充実させていきたい。
3	工作などの作品作りが得意な職員が多い。	季節ごとの装飾を作成したり、工作や描画をして楽しむことを積極的に取り入れている。工作のアイデアを工夫して楽しく取り組めるように務めている。	児童の作品を展示会に出展するなど、外に向けた活動にも取り組みたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	周辺の住民や保育園・幼稚園など、地域の方々と触れ合うことができていない。 保護者同士が知り合ったり交流する場が設けられていない。	以前は近隣の保育園・幼稚園と交流があったり、保護者の茶話会を開催していたが、コロナウイルスの流行以降、感染症に関する危機意識が高くなり、交流する計画が立てにくくなってしまった。	感染症には十分に留意するルールを設けて、危険のない範囲で交流する活動を行なっていきたい。
2	職員間のミーティングは終業後にはできていない(翌日におこなう)。	職員の疲れを溜めないように(事故防止・働きやすい職場の確立)との配慮から、すみやかに退勤させたいとの会社の意向がある。	当日中に共有したいことは簡単なメモでもいいので書面にして残し、退勤前に各自確認して共有に務める。 早急な対応が必要な場合は、残業でのミーティングおよび電話等で情報共有し、翌日よりしっかりと対応できるようにする。
3	ワンフロアで、やや狭いと感じている。	知的障害児の特別支援学校、肢体不自由児の特別支援学校、近隣の公立学校の特別支援級と、利用者の特性がさまざまなタイプの児童の利用を受けているため、介護用のベッドもあり活動内容によっては狭く感じてしまう。	元気な児童たちは近隣の公園に出かけて遊ぶ時間を設け、事業所内の人口密度が高くないようにしている。室内で児童が多くなった際には、順番で遊びをおこなうなどしてルールを守り社会性を高める療育のプランを実施し、児童それぞれがバラバラに活動しないようにしてスペースに余裕を持たせたい。